

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【公開番号】特開2003-183372(P2003-183372A)

【公開日】平成15年7月3日(2003.7.3)

【出願番号】特願2001-391299(P2001-391299)

【国際特許分類第7版】

C 08 G 63/78

【F I】

C 08 G 63/78

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月2日(2004.2.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

160 以下の反応温度で第1の二塩基酸、過剰量のジオール及び一価アルコールを反応させる第1段階、別途第2の二塩基酸と一価アルコールとをモル比ほぼ1:1で反応させる第2段階、該第1段階と該第2段階の生成物を反応させる第3段階、第3段階の生成物を減圧下でエステル交換反応させる第4段階から成る、組成式 R ( P X )<sub>1 ~ 2</sub> ( A X )<sub>0 ~ 1</sub> A R (式中、Rは一価アルコール、A及びPは二塩基酸、Xはジオールを表し、エステル結合の記載を省略する。)で表される異種複合エステルの製造方法。

【請求項2】

前記第1の二塩基酸がアジピン酸であり、前記第2の二塩基酸がフタール酸又は無水フタール酸である請求項1に記載の製造方法。

【請求項3】

前記ジオールが炭素数が2~6の2官能性アルコール又は炭素数が6以下のポリアルキレングリコールである請求項1又は2に記載の製造方法。

【請求項4】

前記反応温度が140~150である請求項1~3のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項5】

前記第2段階を0.2~10mmHgの減圧下で行う請求項1~4のいずれか一項に記載の製造方法。

【請求項6】

請求項1~5のいずれか一項に記載の製造方法の生成物であって、組成式 R ( P X )<sub>1 ~ 2</sub> ( A X )<sub>0 ~ 1</sub> A R (式中、Rは一価アルコール、A及びPは二塩基酸、Xはジオールを表し、エステル結合の記載を省略する。)で表される異種複合エステルであって、PXPX構造を含まない異種複合エステル。